

# 令和6年度 第1回苫小牧市航空機騒音対策協議会

日時：令和6年5月30日（木）

午後6時30分

場所：JFEリサイクルプラザ苫小牧  
2階 会議室

## 次 第

1 開 会

2 事務局紹介

3 会長挨拶

4 部長挨拶

5 議 題

### (1) 報告事項

ア 米軍再編に伴う米軍機訓練移転について

① 米軍再編に係る各基地の訓練移転経過について 【資料 1-1】

② 令和6年度における米軍再編に係る航空機訓練移転について 【資料 1-2】

③ オスプレイの運用再開について 【資料 1-3】

イ 令和5年度（下半期）航空機部品等落下事案について 【資料 2】

ウ 北海道防衛局関係の助成事業実施状況について 【資料 3】

エ 令和5年度再編関連訓練移転等交付金事業結果について 【資料 4】

オ 令和5年度（下半期）新千歳空港における民航機の引き返し及び  
目的地外着陸について 【資料 5】

カ 令和5年度航空機騒音測定結果について 【資料 6】

キ 令和5年度空港融雪剤に係る水質測定結果について 【資料 7】

ク BOD目標管理値を超えた空港排水の流出について 【資料 8】

ケ 運航自粛時間飛行及びBOD目標管理値を超えた空港排水の  
流出に関する申入れについて 【資料 9】

### (2) 協議事項

ア 令和6年度要望活動（案）について 【資料 10】

6 その他

## ◆ 米軍再編に係る各基地の訓練移転経過 (過去3年度分) ◆

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
3年度	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					R3. 6. 10通知	
	グアム	R3. 6. 17(木)～7. 14(水)	FA-18×12機 EA-18G×5機 約470人	グアム	岩国 三沢	無		
	グアム	R3. 8. 4(水)～9. 3(金)	FA-18×12機 EA-18G×5機 約480人	グアム	岩国 三沢	無		
	千歳	R3. 9. 13(月)～9. 22(水)	F-15×12機 E-3C×1機 約240人	II	嘉手納	1基地派遣		
	百里	R3. 12. 13(月)～12. 17(金)	FA-18×8機 約170人	II	岩国	無		
	グアム	R4. 1. 24(月)～2. 23(水)	FA-18×10機 EA-18×5機 約400人	グアム	岩国 三沢	無		
	グアム	R4. 1. 27(木)～2. 24(木)	F-16×14機 約240人	グアム	三沢	無		
	グアム	R4. 1. 31(月)～2. 18(金)	F-15×12機 KC-135×2機 E-3×2機 C-12×1機 約560人	グアム	嘉手納	無		
	グアム	R4. 3. 11(金)～3. 29(火)	FA-18×16機 E-2D×4機 約420人	グアム	岩国	無		
	グアム	R4. 3. 13(日)～3. 31(木)	FA-18×16機 約290人	グアム	岩国	無		
	築城	R4. 3. 22(火)～3. 25(金)	F-15×6機 F-2×6機 約110人	II	嘉手納	無		
計	千歳:1回 小松:0回 三沢:0回 築城:1回 百里:1回 新田原:0回 グアム:7回 計:10回		I:0回 II:2回 グアム:7回	三沢:4回 岩国:6回 嘉手納:3回	1基地派遣			
4年度	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					R4. 3. 11通知	
	グアム	R4. 5. 30(月)～6. 17(金)	FA-18×12機 F-35B×8機 KC-130×2機 約380人	グアム	岩国	無		
	グアム	R4. 8. 1(月)～9. 2(金)	FA-18×12機 EA-18G×5機 約420人	グアム	岩国 三沢	無		
	小松	R4. 8. 29(月)～9. 2(金)	F-16×6機 F-15×6機 約90人	II	三沢	無		
	新田原	R4. 11. 8(火)～11. 18(金)	FA-18×10機 F-15×8機 約110人	II	岩国	無		
	築城	R4. 11. 10(木)～11. 18(金)	F-15×12機 F-2×12機 約190人	II	嘉手納	無		
	百里	R4. 11. 10(木)～11. 18(金)	F-16×12機 F-2×8機 約130人	II	三沢	無		
	グアム	R5. 1. 24(火)～2. 27(月)	FA-18×12機 EA-18G×5機 約480人	グアム	岩国 三沢	無		
	グアム	R5. 2. 6(月)～2. 24(金)	F-15×12機 KC-135×3機 C-130×3機 E-3×2機 約520人	グアム	嘉手納	無		
	グアム	R5. 2. 8(水)～3. 2(木)	F-16×12機 約260人	グアム	三沢	無		
	グアム	R5. 3. 13(月)～3. 27(月)	FA-18×16機 約340人	グアム	岩国	無		
計	千歳:0回 小松:1回 三沢:0回 築城:1回 百里:1回 新田原:1回 グアム:6回 計:10回		I:0回 II:4回 グアム:6回	三沢:5回 岩国:5回 嘉手納:2回	派遣無し			
5年度	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					R5. 3. 8通知	
	アラスカ	R5. 8. 8(火)～9. 8(金)	F-35B×13機 KC-130J×2機 約270人	アラスカ	岩国	無	米軍の運用上の都合により中止	
	千歳	R5. 9. 26(火)～10. 4(水)	F-16×12機 E-3G×1機 約220人	II	三沢	1基地派遣		
	築城	R5. 12. 5(火)～12. 15(金)	F-35A×12機 約200人	II	嘉手納	無		
	新田原	R5. 12. 8(金)～12. 20(水)	FA-18×10機 KC-130×1機 約300人	II	岩国	無		
	百里	R6. 1. 29(月)～2. 8(木)	F-16×12機 約160人	II	三沢	無		
	グアム	R6. 1. 25(木)～2. 23(金)	FA-18×12機 KC-130J×2機 約260人	グアム	岩国	無		
	グアム	R6. 2. 5(月)～2. 23(金)	F-15C×12機 KC-135×3機 C-130×3機 C-12×1機 E-3×2機 約520人	グアム	嘉手納	無		
	グアム	R6. 2. 5(月)～3. 1(金)	F-16×12機 約190人	グアム	三沢	無		
	グアム	R6. 3. 11(月)～3. 22(金)	FA-18×16機 E-2D×3機 約340人	グアム	岩国	無		
	グアム	R6. 3. 13(水)～3. 24(日)	FA-18×16機 約310人	グアム	岩国	無		
計	千歳:1回 小松:0回 三沢:0回 築城:1回 百里:1回 新田原:1回 グアム:5回 アラスカ:0回 計:9回		I:0回 II:4回 グアム:5回 アラスカ:0回	三沢:3回 岩国:4回 嘉手納:2回	1基地派遣			

(お知らせ)

令和5年11月22日  
防 衛 省

### 米軍再編に係る嘉手納飛行場から築城基地への訓練移転について

米軍再編に係る嘉手納飛行場から築城基地への訓練移転（日米共同訓練）を下記のとおり実施しますので、お知らせします。

今回で訓練移転は133回目（国内68回及びグアム等65回）となります。

国内への訓練移転は、平成18年5月の再編の実施のための日米ロードマップに基づき、二国間の相互運用性の向上と米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響の軽減のために行われるものです。

我が国を取り巻く安全保障環境がより一層厳しさを増す中、日米共同訓練を行うことは、日米共同対処能力の維持・向上に大きく資するのみならず、日米それぞれの戦術技量の向上を図る上で有益なものとなります。

#### 記

1. 訓練期間：令和5年12月5日（火）～同月15日（金）  
※訓練期間の前後に、訓練参加機及び人員・物資の輸送機の展開・撤収が行われる予定
2. 使用基地：航空自衛隊築城基地
3. 使用空域：山口北方沖空域及び九州西方空域
4. 訓練内容：戦闘機戦闘訓練等
5. 参加部隊：(米軍) 第18航空団（嘉手納）  
(航空自衛隊) 第8航空団（築城）
6. 参加規模：タイプⅡ  
(米軍) F-35A×12機程度、人員200名程度  
(航空自衛隊) F-2×8機程度

※ 本内容については、今後、変更される場合があります。

(お知らせ)

令和5年11月22日  
防 衛 省

### 米軍再編に係る岩国飛行場から新田原基地への訓練移転について

米軍再編に係る岩国飛行場から新田原基地への訓練移転（日米共同訓練）を下記のとおり実施しますので、お知らせします。

今回で訓練移転は134回目（国内69回及びグアム等65回）となります。

国内への訓練移転は、平成18年5月の再編の実施のための日米ロードマップに基づき、二国間の相互運用性の向上と米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響の軽減のために行われるものです。

我が国を取り巻く安全保障環境がより一層厳しさを増す中、日米共同訓練を行うことは、日米共同対処能力の維持・向上に大きく資するのみならず、日米それぞれの戦術技量の向上を図る上で有益なものとなります。

### 記

1. 訓練期間：令和5年12月8日（金）～同月20日（水）  
※訓練期間の前後に、訓練参加機及び人員・物資の輸送機の展開・撤収が行われる予定
2. 使用基地：航空自衛隊新田原基地
3. 使用空域：四国沖空域及び九州西方空域
4. 訓練内容：戦闘機戦闘訓練等
5. 参加部隊：（米軍）第12海兵航空群（岩国）  
（航空自衛隊）第5航空団（新田原）
6. 参加規模：タイプⅡ  
（米軍）F A-18×10機程度、K C-130×1機程度、人員300名程度  
（航空自衛隊）F-15×12機程度

※1 当該訓練には岩国飛行場所属のF-35B×2機程度が参加し、日々の訓練の都度、岩国飛行場から新田原基地に飛来し、訓練実施後、岩国飛行場に帰投する予定です。

※2 本内容については、今後、変更される場合があります。

(お知らせ)

令和6年1月18日  
防 衛 省

### 米軍再編に係る三沢飛行場から百里基地への訓練移転について

米軍再編に係る三沢飛行場から百里基地への訓練移転（日米共同訓練）を下記のとおり実施しますので、お知らせします。

今回で訓練移転は135回目（国内70回及びグアム等65回）となります。

国内への訓練移転は、平成18年5月の再編の実施のための日米ロードマップに基づき、二国間の相互運用性の向上と米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響の軽減のために行われるものです。

我が国を取り巻く安全保障環境がより一層厳しさを増す中、日米共同訓練を行うことは、日米共同対処能力の維持・向上に大きく資するのみならず、日米それぞれの戦術技量の向上を図る上で有益なものとなります。

### 記

1. 訓練期間：令和6年1月29日（月）～2月8日（木）  
※訓練期間の前後に、訓練参加機及び人員・物資の輸送機の展開・撤収が行われる予定
2. 使用基地：航空自衛隊百里基地
3. 使用空域：百里沖空域
4. 訓練内容：戦闘機戦闘訓練等
5. 参加部隊：（米軍）第35戦闘航空団（三沢）  
（航空自衛隊）第7航空団（百里）
6. 参加規模：タイプⅡ  
（米軍）F-16×12機程度、人員160名程度  
（航空自衛隊）F-2×8機程度

※ 本内容については、今後、変更される場合があります。

(お知らせ)

令和6年1月24日  
防 衛 省

### 米軍再編に係るグアム等への航空機訓練移転について

米軍再編に係るグアム等への航空機訓練移転（単独訓練）を、下記のとおり実施しますので、お知らせします。

今般の訓練移転は、平成18年度以降、136回目から138回目となります。

グアム等への訓練移転は、米軍飛行場周辺地域における訓練活動の影響軽減のために実施されるものです。

### 記

#### (1) 岩国飛行場からグアム等への訓練移転

- 訓練期間：令和6年1月25日（木）～2月23日（金）
- 参加部隊：第12海兵航空群（岩国）
- 参加規模：F A-18×12機程度、K C-130 J×2機程度、  
人員240名程度

#### (2) 嘉手納飛行場からグアム等への訓練移転

- 訓練期間：令和6年2月5日（月）～2月23日（金）
- 参加部隊：第18航空団（嘉手納）
- 参加規模：F-15C×12機程度、K C-135×3機程度、  
C-130×3機程度、C-12×1機程度、  
E-3×2機程度、人員520名程度

#### (3) 三沢飛行場からグアム等への訓練移転

- 訓練期間：令和6年2月5日（月）～3月1日（金）
- 参加部隊：第35戦闘航空団（三沢）
- 参加規模：F-16×12機程度、人員190名程度

※本内容については、今後、変更される場合があります。

以上

(お知らせ)

令和6年3月7日  
防 衛 省

### 米軍再編に係るグアム等への航空機訓練移転について

米軍再編に係るグアム等への航空機訓練移転(単独訓練)を、下記のとおり実施しますので、お知らせします。

今般の訓練移転は、平成18年度以降、139回目及び140回目となります。

グアム等への訓練移転は、米軍飛行場周辺地域における訓練活動の影響軽減のために実施されるものです。

#### (1) 岩国飛行場からグアム等への訓練移転

- 訓練期間: 令和6年3月11日(月)～3月22日(金)
- 参加部隊: 第5空母航空団(岩国)
- 参加規模: FA-18×16機程度、E-2D×3機程度  
人員340名程度

#### (2) 岩国飛行場からグアム等への訓練移転

- 訓練期間: 令和6年3月13日(水)～3月24日(日)
- 参加部隊: 第5空母航空団(岩国)
- 参加規模: FA-18×16機程度  
人員310名程度

※訓練期間の前後に、訓練参加機及び人員・物資の輸送機の展開・撤収が行われる予定

※本内容については、今後、変更される場合があります。

以上

(お知らせ)

令和6年5月8日  
防 衛 省

米軍再編に係る三沢飛行場から米国アラスカ州への訓練移転について

米軍再編に係る三沢飛行場から米国アラスカ州への訓練移転(単独訓練)について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

今般の訓練移転は、平成18年度以降、141回目となります。

米国アラスカ州への訓練移転は、米軍飛行場周辺地域における訓練活動の影響軽減のために実施されるものであり、今回初めて実施されます。

- 訓練期間:令和6年5月13日(月)～6月14日(金)
- 参加部隊:第35戦闘航空団(三沢)
- 訓練場所:米国アラスカ州のイルソン空軍基地
- 演練項目:戦闘機戦闘訓練等
- 参加規模:F-16×12機程度  
人員210名程度

※本内容については、今後、変更される場合があります。

(お知らせ)

令和6年5月10日  
防 衛 省

### 米軍再編に係るグアム等への航空機訓練移転について

米軍再編に係るグアム等への航空機訓練移転(単独訓練)を、下記のとおり実施しますので、お知らせします。

今般の訓練移転は、平成18年度以降、142回目及び143回目となります。

グアム等への訓練移転は、米軍飛行場周辺地域における訓練活動の影響軽減のために実施されるものです。

#### **(1)岩国飛行場からグアム等への訓練移転**

- 訓練期間:令和6年5月17日(金)～6月17日(月)
- 参加部隊:第12海兵航空群(岩国)
- 参加規模:F-35B×10機程度  
人員270名程度

#### **(2)岩国飛行場からグアム等への訓練移転**

- 訓練期間:令和6年5月20日(月)～6月21日(金)
- 参加部隊:第12海兵航空群(岩国)
- 参加規模:FA-18C×6機程度、FA-18D×6機程度、  
KC-130J×2機程度  
人員450名程度

※訓練期間の前後に、訓練参加機及び人員・物資の輸送機の展開・撤収が行われる予定。

※本内容については、今後、変更される場合があります。

(お知らせ)

令和6年3月22日  
防 衛 省

### 令和6年度における米軍再編に係る航空機訓練移転について

令和6年度の米軍再編に係る航空機訓練移転については、10回程度の実施を目標に計画する予定です。

当該訓練移転は、日米の相互運用性の向上及び嘉手納飛行場を始めとする米軍飛行場周辺の騒音軽減を目的として実施されるものであり、日米両政府の緊密な協力関係により実現するものです。

なお、個々の訓練の概要については決まり次第、お知らせします。

(参考)

移転元の米軍飛行場: 嘉手納飛行場、岩国飛行場及び三沢飛行場

移転先の基地: (国内) 千歳基地、三沢基地、百里基地、小松基地、築城基地  
及び新田原基地

(国外) グアム等及びアラスカ

以上

# オスプレイの運用再開について

## 1 事故概要

- 令和5年11月29日、鹿児島県屋久島東側の沖合で訓練中の米空軍横田基地所属のCV-22オスプレイ1機が墜落。
- 12月6日、米軍は乗員8名全員の死亡を認定。
- 12月7日、米軍はリスクを軽減するため、オスプレイを保有する全ての軍種において、オスプレイの運用を停止する旨を発表。
- 陸上自衛隊においても、当面の間、オスプレイの飛行を見合わせる。



(出典：米国防総省HP)

## 2 事故原因と安全対策等

### <事故原因>

- 航空機の機能を発揮させるために必要な構成品の中において、特定の部品の不具合が発生したことが事故原因であることを特定。

### <安全対策>

- 異常探知システムによる予防的点検と維持整備の頻度の増加。
- 航空機の整備記録の確認。
- 通常時・緊急時の搭乗員の手順の更新。
- 運用計画の更新。

### <機体の安全性>

- オスプレイの設計と構造に問題はない。

## 3 オスプレイの運用停止措置解除

- 日本時間令和6年3月8日、米軍はオスプレイの運用停止措置の解除について公表。  
→オスプレイは全ての整備、安全及び手順の変更が実施された後にのみ運用される。在日米軍及び陸上自衛隊が運用するオスプレイの運用再開は、日米間で引き続き緊密に調整を行う。
- 令和6年3月13日、防衛省は日本国内のオスプレイの段階的な運用再開について公表。  
→事故の再発防止のための安全対策として示された整備や教育を行い、3月14日以降、準備が整ったものから順次飛行を開始し、求められる任務に対応する能力を回復していく。

令和 6 年 4 月 2 3 日  
航空自衛隊千歳基地

令和 5 年度（下半期）航空機部品等落下について

令和 5 年 1 0 月 1 日から令和 6 年 3 月 3 1 日までの間、航空自衛隊千歳基地において発生した航空機の部品等落下について、下記のとおりお知らせします。

記

番号	発生等日時	発生場所	機種	落下部品等		
				品名等	大きさ	重さ
1	令和6年 2月1日(木) 08:18～13:17頃	小松飛行場 ～千歳飛行場 ～小松飛行場	F-15DJ	リング	直径:約110mm 幅:約2mm	約11g
2	令和6年 3月4日(月) 14:40～16:00頃	千歳飛行場 ～日本海上 ～千歳飛行場	F-15J	ピボット ・フック	長さ:約20mm 幅:約25mm	約50g

(問い合わせ先)

航空自衛隊千歳基地

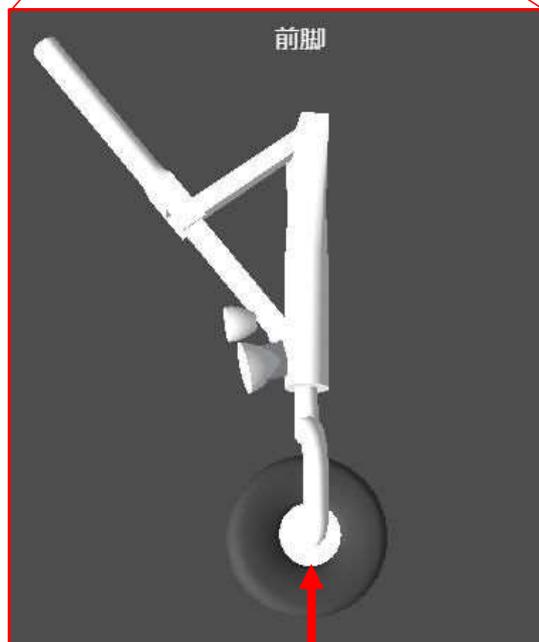
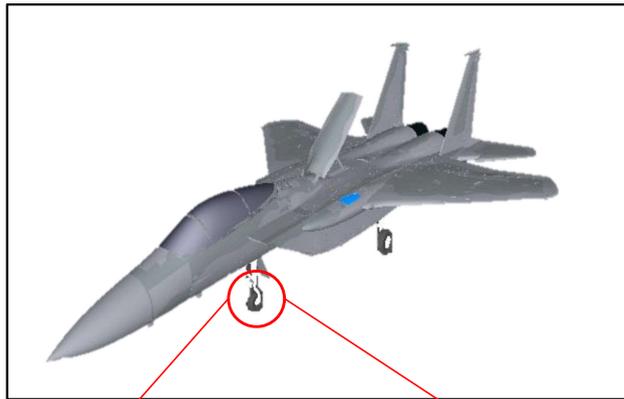
第 2 航空団司令部監理部基地対策室

担当：津曲、下間

電話：0 1 2 3 - 2 3 - 3 1 0 1

(内線：2 2 1 4)

# F-15DJ (リング)



# F-15J (ピボット・フック)

空幕HPより



◎第3条（学校、病院、福祉施設等の防音工事助成）

（単位：千円）

年度	事業名	補助金
R4	植苗・沼ノ端・勇払小中学校防音事業関連維持費補助金	5,059
	勇払中学校（講堂）防音機能復旧工事	10,400
	勇払小学校（講堂）防音機能復旧工事 実施設計	1,716
R5	植苗・沼ノ端・勇払小中学校防音事業関連維持費補助金	3,300
	勇払中学校防音機能復旧工事	26,507
	勇払中学校（講堂）防音機能復旧工事	19,565
R6 (予定)	沼ノ端小学校校舎防音機能復旧工事 実施設計	3,930
	勇払小学校（講堂）防音機能復旧工事	32,232

◎第4条（一般住宅の防音工事）

（単位：世帯）

年度	住宅防音工事	機能復旧工事	
		空調機器	防音建具
R3	5	11	2
R4	8	21	3
R5	2	8	6

防音工事は従来、新規・追加の2段階に分けて実施されており、平成8年度に追加工事が工事実施区域の南端まで到達した事で一応の区切りとし、平成9年度からは、工事対象世帯であるが都合により実施していなかった世帯の工事を行っています。

空調機器機能復旧工事は、既に設置の暖房機・換気扇・レンジ扇が10年以上経過し故障している場合、取替工事を実施するものです。（再度も可）

◎第8条（まちづくり事業）

（単位：千円）

年度	事業名	事業費	交付金
R5	苫小牧市防災まちづくり基本構想策定支援業務	14,003	12,602

◎第9条（特定防衛施設周辺整備調整交付金）

（単位：千円）

年度	事業名	交付金
R4	①美々遠浅道線防雪柵設置事業 (14,685・交付金14,500)	122,933
	②東開文化交流サロン運営事業（基金） (25,000・交付金25,000)	
	③勇払川西通改良舗装工事（測量設計） (10,384・交付金9,400)	
	④土木車両整備事業（凍結防止剤散布車） (22,440・交付金22,000)	
	⑤児童用机・椅子整備事業 (30,115・交付金10,000)	
	⑥災害用備蓄品購入 (11,324・交付金10,633)	
	⑦矢代ゲートボール場改修工事 (32,010・交付金27,300)	
	⑧陸上競技場備品整備事業 (4,178・交付金4,100)	
R5	①美々遠浅道線防雪柵設置事業 (20,064・交付金18,000)	125,763
	②東開文化交流サロン運営事業（基金） (44,000・交付金44,000)	
	③勇払川西通改良舗装工事 (67,507・交付金30,000)	
	④勇払小学校施設環境整備事業 (5,216・交付金4,500)	
	⑤児童用机・椅子整備事業 (6,367・交付金3,000)	
	⑥学校給食用食缶整備事業 (11,805・交付金10,000)	
	⑦学習用ICT環境整備事業 (7,590・交付金7,000)	
	⑧災害用備蓄品購入 (10,542・交付金9,263)	
R6 (予定)	①美々遠浅道線防雪柵設置事業 (20,000・交付金18,000)	111,400
	②東開文化交流サロン運営事業（基金） (44,000・交付金44,000)	
	③ウトナイ小学校教育環境整備事業 (1,000・交付金900)	
	④勇払川西通改良舗装工事 (70,000・交付金25,000)	
	⑤児童用机・椅子整備事業 (34,047・交付金10,000)	
	⑥学校給食用食缶整備事業 (15,980・交付金10,000)	
	⑦学校施設環境整備事業 (4,000・交付金3,500)	

## 令和5年度 再編関連訓練移転等交付金事業（結果）

（単位：千円）

事業名	総事業費	交付金				②-① 増減	
		当初額 R5年4月	①変更後 R5年11月	②確定額			
植苗・美沢地区	星ヶ丘13号線改良舗装工事	20,229	20,000	20,000	20,000	0	
	防災倉庫整備事業	24,343	24,000	24,000	24,000	0	
	小計	44,572	44,000	44,000	44,000	0	38.9%
沼ノ端地区	沼ノ端地区児童クラブ備品整備事業	0	1,000	0	0	0	
	沼ノ端小・中学校教育環境整備事業	2,688	2,900	2,680	2,680	0	
	勇の原公園整備事業（事前調査・実施設計）	21,649	21,000	21,000	21,000	0	
	ウトナイ小学校備品整備事業	7,075	8,300	6,700	6,700	0	
小計	31,412	33,200	30,380	30,380	0	26.8%	
勇払地区	勇払パークゴルフ場用地取得事業	25,453	25,500	25,450	25,450	0	
	小計	25,453	25,500	25,450	25,450	0	22.5%
三地区共通	小中学校図書整備事業	4,714	4,400	4,400	4,400	0	
	小計	4,714	4,400	4,400	4,400	0	3.9%
共通	保健センター等医療機器整備事業（最終調整弁）	10,445		9,007	9,007	0	
	小計	10,445	0	9,007	9,007	0	7.9%
合計	116,596	107,100	113,237	113,237	0		

再編関連訓練移転等交付金

113,237千円

令和5年 4月 3日 定額分（一次配当決定） 113,237千円

## 令和5年度下半期 新千歳空港における民航機の引き返し及び目的地外空港への着陸について

	着陸日	種別	路線		航空会社便名	着陸理由			目的地外着陸 ／引き返し	理由詳細
			発	着		機材不具合	天候不良	その他		
1	R05.10.05	国際	サンディエゴ (アメリカ)	成田	JAL65			○	目的地外着陸	急患発生のため
2	R05.10.05	国内	新千歳	福島	ANA1114	○			引き返し	計器不良のため
3	R05.11.01	国内	新千歳	釧路	ANA4871		○		引き返し	目的地が悪天候のため
4	R05.11.11	国際	深圳 (中国)	アンカレッジ (アメリカ)	CSN411			○	目的地外着陸	アンカレッジ空港閉鎖のため
5	R05.11.24	国内	中標津	丘珠	JAL2738		○		目的地外着陸	目的地が悪天候のため
6	R05.12.06	国内	羽田	旭川	JAL553		○		目的地外着陸	目的地が悪天候のため
7	R05.12.10	国内	新千歳	稚内	ANA4841		○		引き返し	目的地が悪天候のため
8	R05.12.21	国内	羽田	稚内	ANA571		○		目的地外着陸	目的地が悪天候のため
9	R05.12.23	国内	羽田	稚内	ANA571		○		目的地外着陸	目的地が悪天候のため
10	R05.12.31	国内	新千歳	中標津	ANA4883		○		引き返し	目的地が悪天候のため
11	R06.01.02	国内	新千歳	羽田	JAL520			○	引き返し	羽田空港閉鎖のため
12	R06.01.02	国内	新千歳	羽田	JAL518			○	引き返し	羽田空港閉鎖のため
13	R06.01.02	国内	新千歳	羽田	ANA74			○	引き返し	羽田空港閉鎖のため
14	R06.01.02	国内	新千歳	羽田	ANA72			○	引き返し	羽田空港閉鎖のため
15	R06.01.09	国際	ヒューストン (アメリカ)	羽田	ANA113			○	目的地外着陸	乗務員交代のため
16	R06.01.13	国内	新千歳	富山	ANA1182	○			引き返し	前面ウインドシールドにクラック発生のため
17	R06.01.18	国内	羽田	釧路	ADO71	○			目的地外着陸	油圧計トラブルのランプ点灯のため
18	R06.01.21	国内	新千歳	青森	JAL2805		○		引き返し	目的地が悪天候のため
19	R06.01.23	国内	新千歳	小松	ANA1174		○		引き返し	目的地が悪天候のため
20	R06.01.29	国際	台湾桃園 (中国)	アンカレッジ (アメリカ)	EVA668/668D		○		目的地外着陸	目的地が悪天候のため

	着陸日	種別	路線		航空会社便名	着陸理由			目的地外着陸 ／引き返し	理由詳細
			発	着		機材不具合	天候不良	その他		
21	R06.01.29	国際	台湾桃園 (中国)	アンカレッジ (アメリカ)	EVA658		○		目的地外着陸	目的地が悪天候のため
22	R06.02.01	国内	羽田	函館	ANA553		○		目的地外着陸	目的地が悪天候のため
23	R06.02.01	国内	女満別	羽田	JAL564	○			目的地外着陸	エンジン不具合のため
24	R06.02.02	国内	新千歳	稚内	ANA4843	○			引き返し	計器不良のため
25	R06.02.02	国内	羽田	稚内	ANA571		○		目的地外着陸	目的地が悪天候のため
26	R06.02.02	国内	函館	丘珠	JAL2748		○		目的地外着陸	目的地が悪天候のため
27	R06.02.02	国内	利尻	丘珠	JAL2882		○		目的地外着陸	目的地が悪天候のため
28	R06.02.04	国内	中標津	丘珠	JAL2738		○		目的地外着陸	目的地が悪天候のため
29	R06.02.22	国内	新千歳	稚内	ANA4841		○		引き返し	目的地が悪天候のため
30	R06.02.22	国内	釧路	丘珠	JAL2860		○		目的地外着陸	目的地が悪天候のため
31	R06.02.22	国内	函館	丘珠	JAL2742		○		目的地外着陸	目的地が悪天候のため
32	R06.03.02	国内	新千歳	青森	JAL2805		○		引き返し	目的地が悪天候のため
33	R06.03.02	国内	新千歳	函館	ANA4853		○		引き返し	目的地が悪天候のため
34	R06.03.02	国内	伊丹	函館	ANA745		○		目的地外着陸	目的地が悪天候のため
35	R06.03.08	国内	羽田	稚内	ANA571		○		目的地外着陸	目的地が悪天候のため
36	R06.03.20	国内	新千歳	新潟	ANA1858		○		引き返し	目的地が悪天候のため
37	R06.03.28	国内	新千歳	伊丹	JAL2016	○			引き返し	計器不良のため
38	R06.03.30	国内	新千歳	花巻	JAL2831		○		引き返し	目的地が悪天候のため
<b>合計</b>			<b>国内 引き返し 18件（機械不具合4、天候10、その他4）</b>			<b>目的地外着陸15件（機械不具合2、天候13、その他0）</b>				
			<b>国際 引き返し 0件（機械不具合0、天候 0、その他0）</b>			<b>目的地外着陸5件（機械不具合0、天候2、その他3）</b>				

令和5年度

航空機騒音測定結果について

# 苫小牧市航空機騒音常時監視測定地点



## 令和5年度 航空機騒音測定結果(時間帯別・レベル別)

	測定日数	騒音発生回数(日平均)				計	レベル別騒音発生回数(日平均値)								最高値 dB	年平均値 dB	Lden dB	環境基準 dB	
		0~7時	7~19時	19~22時	22~0時		70dB未満	70dB~	75dB~	80dB~	85dB~	90dB~	95dB~	100dB~					
北海道測定局	植苗局	366日	6 0	46,389 127	8,448 23	543 1	55,386 151	13,515 37	31,191 85	10,333 28	325 1	21 0	1 0	0 0	0 0	94.7	73.3	56	62
	ウトナイ局	366日	5 0	20,666 56	4,675 13	351 1	25,697 70	23,373 64	1,310 4	554 2	313 1	122 0	25 0	0 0	0 0	94.8	70.6	50	62
	美沢局	366日	5 0	33,301 91	6,789 19	389 1	40,484 111	39,526 108	592 2	326 1	37 0	1 0	1 0	0 0	1 0	100.6	63.9	46	62
	湖畔局	366日	40 0	66,997 183	12,695 35	1,008 3	80,740 221	34,207 93	38,761 106	7,474 20	265 1	32 0	1 0	0 0	0 0	90.4	71.8	57	62
	斎藤宅局	366日	3 0	25,590 70	5,724 16	88 0	31,405 86	31,001 85	322 1	71 0	11 0	0 0	0 0	0 0	0 0	83.8	62.1	44	62
	植苗公園局	356日	15 0	38,700 106	7,374 20	604 2	46,693 128	40,887 112	4,741 13	697 2	261 1	87 0	18 0	2 0	0 0	95.7	68.8	52	62
	勇払局	366日	11 0	40,978 112	7,576 21	547 1	49,112 134	47,161 129	1,827 5	95 0	26 0	3 0	0 0	0 0	0 0	89.8	65.4	49	62
	沼ノ端東雲局	366日	28 0	59,611 163	11,766 32	908 2	72,313 198	66,740 182	4,934 13	312 1	239 1	79 0	9 0	0 0	0 0	92.9	67.5	52	62
	勇払東局	366日	10 0	37,558 103	8,841 24	516 1	46,925 128	44,730 122	2,054 6	124 0	14 0	3 0	0 0	0 0	0 0	88.3	65.4	49	62
苫小牧市測定局	植苗会館局	366日	13 0	41,286 113	6,989 19	89 0	48,377 132	46,781 128	1,265 3	297 1	31 0	3 0	0 0	0 0	0 0	86.3	65.4	49	62
	丹治沼局	366日	33 0	67,089 183	11,729 32	935 3	79,786 218	25,784 70	43,505 119	10,005 27	442 1	49 0	1 0	0 0	0 0	90.6	72.6	58	62
	琥珀荘局	366日	16 0	46,983 128	8,098 22	207 1	55,304 151	52,925 145	1,785 5	547 1	45 0	2 0	0 0	0 0	0 0	87.8	66.0	51	62
	沼ノ端東局	366日	25 0	54,805 150	10,451 29	803 2	66,084 181	55,302 151	10,136 28	534 1	102 0	10 0	0 0	0 0	0 0	88.0	68.5	54	62
	沼ノ端局	366日	11 0	30,990 85	5,896 16	304 1	37,201 102	35,269 96	875 2	668 2	265 1	92 0	26 0	6 0	0 0	98.6	69.2	51	57
	糸井局	366日	2 0	699 2	28 0	0 0	729 2	553 2	144 0	27 0	4 0	1 0	0 0	0 0	0 0	88.3	69.9	36	-

# 航空機別の自粛時間飛行機数

## 1 民間航空機

年度	機数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数
令和元年		14	27	29	28	40	57	33	5	27	29	33	1	323
令和2年		0	1	1	1	2	6	2	4	4	2	6	8	37
令和3年		4	3	2	5	7	4	4	14	35	65	13	14	170
令和4年		4	17	20	17	41	23	19	18	62	43	91	31	386
令和5年		25	31	46	48	104	67	43	34	70	134	73	42	717

※22時～翌日7時までの飛行を集計。24時間運用に係る深夜早朝便を除く。

## 2 自衛隊機等

年度	機数		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
	回数	機数	回数	機数	回数	機数	回数	機数	回数	機数	回数	機数	回数	機数	回数	機数														
令和元年	1	2	0	0	4	8	0	0	0	0	0	0	3	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	9	21
令和2年	2	4	0	0	0	0	4	8	0	0	3	4	1	2	11	29	1	4	0	0	4	4	0	0	4	4	0	0	26	55
令和3年	1	2	1	2	2	7	0	0	1	1	1	1	7	13	14	27	2	4	0	0	3	5	1	1	33	63	33	63		
令和4年	0	0	0	0	3	5	16	23	1	1	4	4	0	0	6	9	1	1	1	1	4	4	1	2	37	50	37	50		
令和5年	1	2	1	2	3	8	11	33	0	0	1	1	1	2	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	52	

※22時～翌7時まで及び土日・祝日に騒音観測したものを集計(「回数」は騒音の観測回数)。

## 3 海上保安庁

年度	機数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数							
令和元年		0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	3
令和2年		2	1	0	0	0	1	2	3	2	2	10	1	24
令和3年		2	2	0	0	0	2	2	0	0	1	1	2	12
令和4年		2	3	1	9	0	4	1	0	2	1	1	3	27
令和5年		1	2	0	1	3	3	2	1	0	1	2	0	16

※22時～翌日7時まで及び土日・祝日に騒音観測したものを集計。

## 自肅時間飛行の多い便の遅延理由一覧(令和5年度)

(令和4年度又は令和5年度に10回以上遅延した便を抜粋)

会社・便別	令和 4年度	令和 5年度	増減数	遅延理由内訳	路線	夏ダイヤ (便数)	冬ダイヤ (便数)		
<b>全体</b>	<b>386</b>	<b>→</b>	<b>717</b>	<b>331</b>	<b>緊急事態:1 機材故障:54 天候:318</b> <b>航空管制等:12 その他:332</b>				
<b>ANA 全体</b>	<b>92</b>	<b>→</b>	<b>217</b>	<b>125</b>	<b>機材故障:14 天候:77</b> <b>航空航空管制等:6 その他:120</b>				
79便	20	→	41	21	機材故障:2 天候:11	航空管制等:3 その他:25	羽田→新千歳	21:35着 (25)	21:35着 (16)
82便	3	→	19	16	機材故障:2 天候:11	その他:6	新千歳→羽田	20:30離 (5)	20:30離 (14)
84便	42	→	45	3	機材故障:2 天候:19	航空管制等:1 その他:23	新千歳→羽田	21:25離 (15)	21:20離 (30)
988便	17	→	77	60	機材故障:6 天候:15	航空管制等:2 その他:54	新千歳→羽田	21:45離 (77)	21:45離 (0)
<b>JAL 全体</b>	<b>73</b>	<b>→</b>	<b>180</b>	<b>107</b>	<b>緊急事態:1 機材故障:22 天候:110</b> <b>その他:47</b>				
526便	3	→	17	14	機材故障:4 天候:10	その他:3	新千歳→羽田	20:10離 (1)	20:10離 (16)
528便	14	→	45	31	機材故障:2 天候:27	その他:16	新千歳→羽田	21:05離 (19)	21:05離 (26)
529便	9	→	38	29	機材故障:3 天候:25	その他:10	羽田→新千歳	21:15着 (14)	21:15着 (24)
530便	7	→	27	20	緊急事態:1 機材故障:2 天候:13	その他:11	新千歳→羽田	21:30離 (12)	21:15離 (15)
2810便	17	→	7	-10	機材故障:1 天候:6		青森→新千歳	21:15着 (3)	21:15着 (4)
2909便	10	→	13	3	機材故障:5 天候:7	その他:1	仙台→新千歳	21:40着 (4)	21:45着 (9)
<b>ADO 全体</b>	<b>163</b>	<b>→</b>	<b>226</b>	<b>63</b>	<b>機材故障:7 天候:75</b> <b>航空管制等:4 その他:140</b>				
37便	107	→	161	54	機材故障:6 天候:38	航空管制等:4 その他:113	羽田→新千歳	21:45着 (101)	21:45着 (60)
38便	23	→	34	11	機材故障:1 天候:18	その他:15	新千歳→羽田	21:00離 (17)	21:00離 (17)
<b>SKY 全体</b>	<b>15</b>	<b>→</b>	<b>37</b>	<b>22</b>	<b>機材故障:3 天候:23</b> <b>その他:11</b>				
730便	11	→	20	9	機材故障:1 天候:10	その他:9	新千歳→羽田	21:00離 (7)	21:00離 (13)
768便	3	→	10	7	機材故障:1 天候:8	その他:1	新千歳→中部国際	20:35離 (1)	20:45離 (9)
<b>APJ 全体</b>	<b>33</b>	<b>→</b>	<b>39</b>	<b>6</b>	<b>機材故障:3 天候:25</b> <b>航空航空管制等:1 その他:10</b>				
589便	1	→	18	17	機材故障:1 天候:10	航空管制等:1 その他:6	成田国際→新千歳	21:50着 (18)	21:50着 (0)
<b>その他</b>	<b>10</b>	<b>→</b>	<b>18</b>	<b>8</b>	<b>機材故障:5 天候:8</b> <b>航空管制等:1 その他:4</b>				

## 95dB以上の騒音発生回数

### 経年変化

(件)

	95dB以上の発生回数	内 訳				
		外国貨物機	外国旅客機	国内旅客機	自衛隊機等	海上保安庁
R元年度	15	0	0	0	15	0
R2年度	11	0	0	0	11	0
R3年度	8	0	0	0	8	0
R4年度	13	0	0	0	13	0
R5年度	9	0	0	0	9	0

※外国旅客機にはサミット関連、自衛隊機等には米軍機を含む。

### 丹治沼局の経年変化

(件)

	95dB以上の発生回数	内 訳				
		外国貨物機	外国旅客機	国内旅客機	自衛隊機等	海上保安庁
R元年度	0	0	0	0	0	0
R2年度	1	0	0	0	1	0
R3年度	0	0	0	0	0	0
R4年度	0	0	0	0	0	0
R5年度	0	0	0	0	0	0

### 令和5年度 詳細記録

測定局	月日	時刻	dB	離着	所属	機種	目的・始発地
<b>美 沢 局</b>							
1	7月18日(火)	10:39:17	100.6	旋回	自衛隊	F-15×2	航空祭訓練の旋回時による
<b>植苗公園局</b>							
2	11月7日(火)	13:52:31	95.7	着	自衛隊	F-15×8	日本海側 通常訓練
	11月29日(水)	11:47:05	95.0	着	自衛隊	F-15×1	日本海側 通常訓練
<b>沼ノ端局</b>							
6	5月22日(月)	17:07:39	96.3	着	自衛隊	F-15×2	日本海側 通常訓練
	5月29日(月)	13:14:00	98.1	着	自衛隊	F-15×2	日本海側 通常訓練
	8月7日(月)	9:22:10	95.4	着	自衛隊	F-15×2	基地周辺を旋回 通常訓練
	10月23日(月)	15:47:59	96.9	着	自衛隊	F-15×2	日本海側 通常訓練
	1月18日(木)	17:20:51	95.9	着	自衛隊	F-15×2	日本海側 通常訓練
	3月5日(火)	18:34:45	98.6	着	自衛隊	F-15×4	日本海側 通常訓練

## 航空機騒音苦情

### (1) 苦情件数の推移(カッコ内は件数)

年度	自衛隊機等によるもの	民間航空機によるもの	合計
R1	2件	5件	7件
内訳	航路(1)、騒音(1)	航路(2)、騒音(3)	
R2	2件	2件	4件
内訳	航路(1)、時間帯(1)	航路(1)、騒音(1)	
R3	1件	0件	1件
内訳	航路・騒音(1)	-	
R4	4件	2件	6件
内訳	騒音(3)、航路・騒音(1)	騒音(1)、航路・騒音(1)	
R5	4件	0件	4件
内訳	航路(2)、騒音(2)	-	

### (2) 苦情発生地区(カッコ内は件数)

年度	自衛隊機等によるもの	民間航空機によるもの
R1	日新町(1)、元町(1)	日新町(1)、山手町(1)、柏木(1)、東開(1)、ウトナイ北(1)
R2	日新町(1)、柏木町(1)	日新町(2)
R3	拓勇東町(1)	-
R4	ウトナイ北(1)、ウトナイ(2)、栄町(1)	拓勇東町(1)、花園町(1)
R5	日新町(1)、東開町(1)、ときわ町(1)、のぞみ町(1)	-

### (3) 苦情発生月別内訳

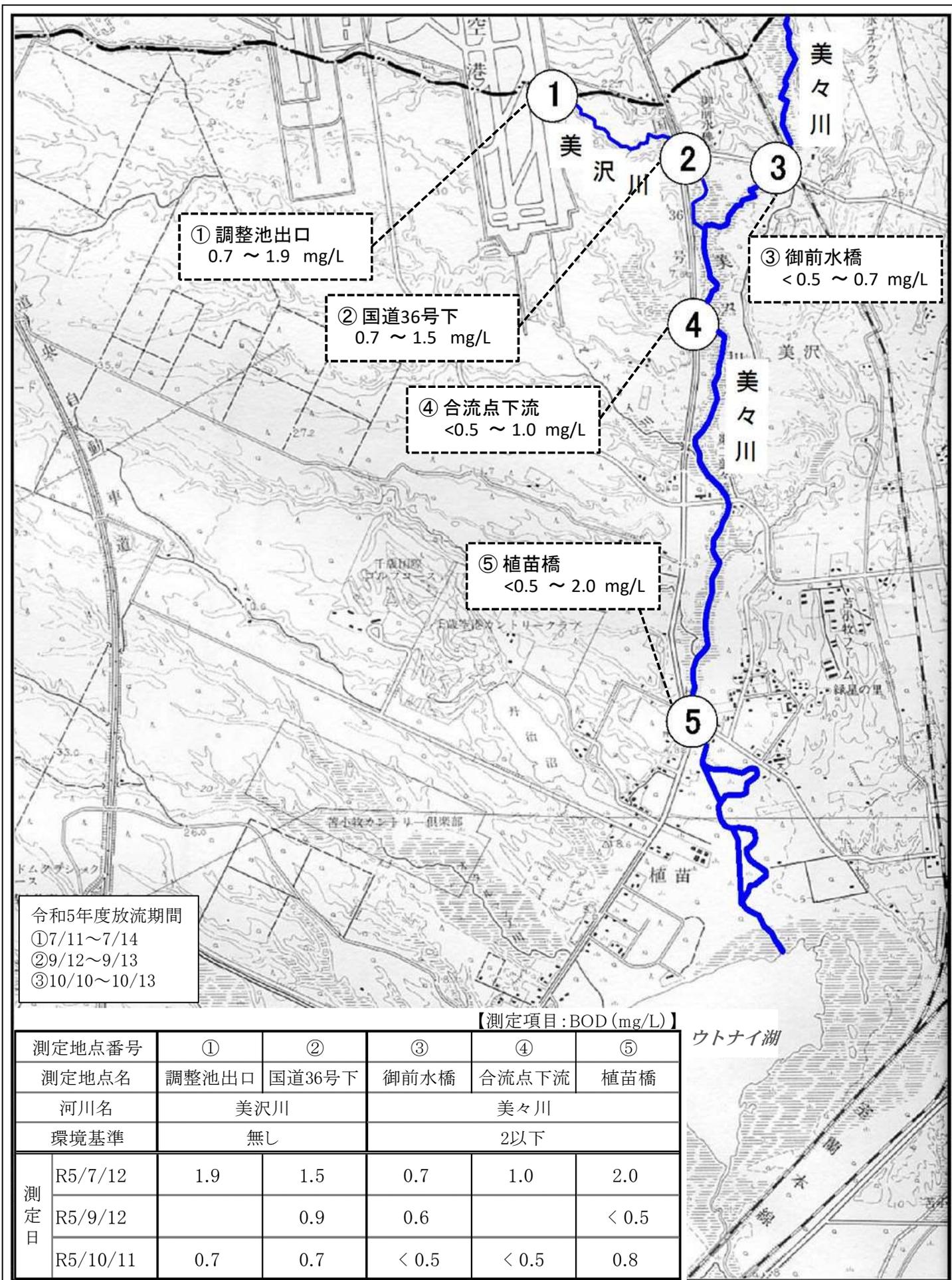
(件)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R1	-	-	-	2	1	4	-	-	-	-	-	-	7
R2	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4
R3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
R4	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	1	6
R5	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	4

令和5年度

空港融雪剤に係る水質測定結果について

# 令和5年度 放流期間中の水質測定結果(美沢川・美々川)



## 空港における防除雪氷剤・融雪剤の年間使用量の推移(5年間)

	防除雪氷剤			融雪剤
	タイプ I (kl)	タイプIV (kl)	合計 (kl)	蟻酸系 (kg)
令和元年度	613	587	1,200	227,890
令和2年度	497	302	799	297,410
令和3年度	730	570	1,300	423,170
令和4年度	642	490	1,132	279,000
令和5年度	771	793	1,564	555,530

※防除雪氷剤: 雪氷の除去や付着防止のため、航空機の機体に塗布するもの

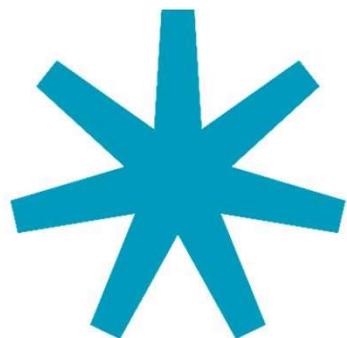
タイプ I : プロピレングリコール80%、水20%

タイプIV : プロピレングリコール50%、水35%、増粘剤・防錆剤等15%

※融雪剤: 滑走路、誘導路、駐機場の凍結防止のために散布するもの

# BOD目標管理値を超えた空港排水の流出につきまして

---



Hokkaido  
Airports

北海道エアポート株式会社  
国土交通省 東京航空局

# 流出経緯

## <流出経緯>

○水質調査(令和6年3月12日採水)において、調整池出口でのBOD値が目標管理値(5mg/l)より高い37mg/lであることが3月18日に判明しました。

○翌3月19日に新設調整池のゲートを確認したところ、導水ゲートが約1cm開いており、導水路から新設調整池への流入を確認しました。



(貯雪ピット) -38-

## <導水ゲート>



開度約1cm

令和5年度第3回苫小牧市航空機騒音対策協議会  
p.38 令和4年度 新千歳空港 調整池の容量拡張について(抜粋)

# 原因と再発防止策

## <原因>

- 引き渡し時には、北海道エアポート及び東京航空局の双方において確認不足があり、導水ゲートが閉まっていると思い込み、導水ゲートの目視確認を怠っておりました。
- 引き渡し以降、北海道エアポートの管理において導水路及び放水路のゲートの開閉状態の確認を行っておりませんでした。

## <再発防止策>

### ○調整池の管理の徹底

- ・北海道エアポートにおいて、新設調整池の適切な管理を行うために、ゲートの開閉確認、管理方法、操作方法や放流時の流出量設定等をマニュアルに追加して万全を尽くします。
- ・東京航空局においては、北海道エアポートの維持管理について、指導・監視を徹底します。

### ○今後の工事の対策

- ・今年度に東京航空局が実施する既設調整池の掘り増し工事については、汚濁水を流出させないようにあらかじめ十分に北海道エアポートと調整し、適切かつ確実に工事を実施します。

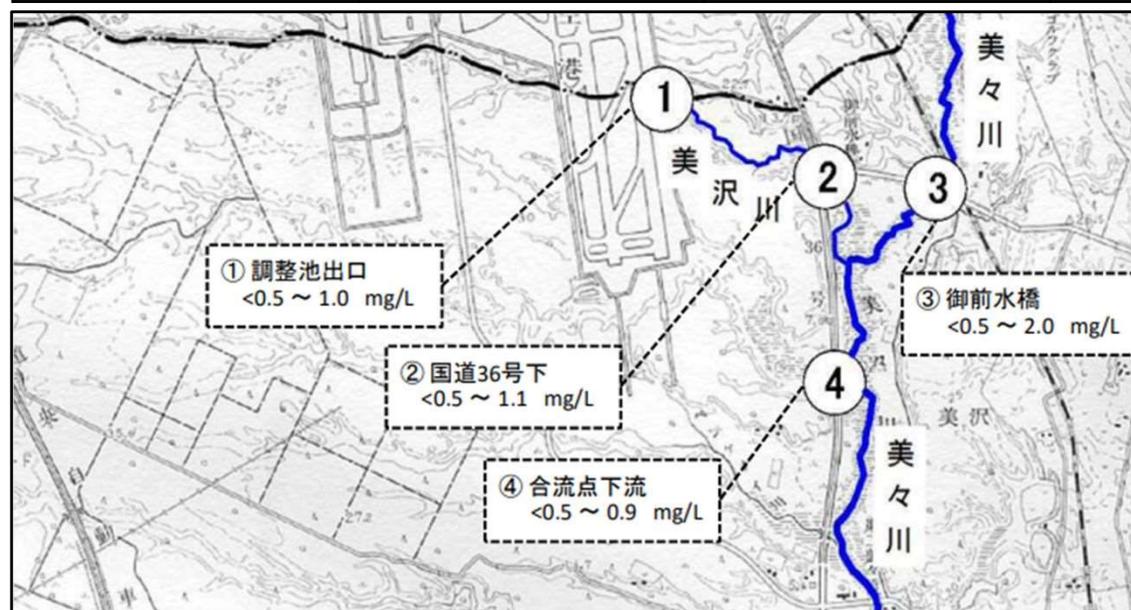
# 時系列および緊急対応

## ＜時系列および緊急対応＞

- 2月 6日 : 定期水質調査を実施
- 2月 8日 : 新設調整池の供用開始(東京航空局から北海道エアポートへ引き継ぎ)  
※北海道エアポートによる維持管理開始
- 2月 13日 : 2/6の水質調査報告(BOD値が目標管理値未満)
- 3月 5日 : 定期水質調査を実施
- 3月11日 : 3/5の水質調査報告(BOD値が目標管理値未満)
- 3月12日 : 定期水質調査を実施
- 3月18日 : 3/12の水質調査報告により事案発覚
- 3月19日 : 緊急対応実施(導水路及び放水路のゲートを閉門)、定期水質調査を実施  
北海道エアポートにより定期的なゲート確認の実施
- 3月22日 : 臨時水質調査を実施
- 3月26日 : 3/19の水質調査報告(BOD値が目標管理値超え)
- 3月27日 : 3/22の臨時水質調査報告(BOD値が目標管理値未満)

# 水質調査結果(BOD値)

採水日	分析報告	①	②	③	④
		調整池出口	国道36号下	御前水橋	合流点下流
2月6日	2月13日	<0.5mg/ℓ	<0.5mg/ℓ	0.7mg/ℓ	<0.5mg/ℓ
3月5日	3月11日	4.0mg/ℓ	—	0.6mg/ℓ	—
3月12日	3月18日	37mg/ℓ※	7.9mg/ℓ	0.8mg/ℓ	1.6mg/ℓ
3月19日	3月26日	25mg/ℓ※	—	1.1mg/ℓ	—
3月22日	3月27日	1.8mg/ℓ	0.9mg/ℓ	0.9mg/ℓ	1.0mg/ℓ



※目標管理値5.0mg/ℓを超えておりますが、  
3月22日には目標値内となっております。

令和5年度第1回苫小牧市航空機騒音対策協議会  
p.51 令和4年度 水質測定地点及びBOD測定結果抜粋

運航自粛時間飛行及び  
BOD 目標管理値を超えた空港排水の流出に関する申入れについて

1 日 時 令和6年5月8日（水）10時30分～11時30分

2 場 所 国土交通省 東京航空局 新千歳空港事務所 会議室

3 出席者 【苫小牧市航空機騒音対策協議会】

副会長	松重 茂雄
副会長	三海 幸彦

【苫小牧市】

総合政策部長	町田 雅人
総合政策部まちづくり推進室長	神保 英士
総合政策部まちづくり推進室空港政策課長	伊藤 貴文
同	主査 佐藤 隼也
環境衛生部ゼロカーボン推進室長	櫻井 理博
同	主査 田村 一也
同	技師 田中 惠実香

4 対応者 【国土交通省 東京航空局 新千歳空港事務所】

新千歳空港長 小谷 浩一 以下7名

【北海道エアポート（株）】

新千歳空港事業所長 原田 浩信 以下7名

5 申入書 別紙のとおり

6 回答及び意見交換要旨 別紙のとおり



## 運航自粛時間飛行に関する申入れ

新千歳空港の深夜・早朝時間帯における運用の自粛につきましては、これまでも天候等のやむを得ない理由によるもの以外の遅延解消につきましては、要望活動等の趣旨を御理解いただき、御努力いただいているところであります。

しかしながら、到着時刻の遅延等による運航自粛時間飛行は、コロナ前に比べ多い状況が続いており、令和5年度は過去最多となる717便発生し、理由の約半数が機材繰りなど、人為的な原因が多い現状にあります。

つきましては、航路下地域住民の生活環境を守るため、深夜・早朝の静穏保持という観点から、運航自粛時間飛行の一層の抑制につきまして、航空会社に対する指導強化を強くお願いいたします。

令和6年5月8日

国土交通省 東京航空局

新千歳空港事務所 空港長

小 谷 浩 一 様

苫小牧市長 岩 倉 博 文

苫小牧市航空機騒音対策協議会

会 長 丹 羽 秀 則

## 運航自粛時間飛行に関する申入れ

新千歳空港の深夜・早朝時間帯における運用の自粛につきましては、これまでも天候等のやむを得ない理由によるもの以外の遅延解消につきましては、要望活動等の趣旨を御理解いただき、御努力いただいているところであります。

しかしながら、到着時刻の遅延等による運航自粛時間飛行は、コロナ前に比べ多い状況が続いており、令和5年度は過去最多となる717便発生し、理由の約半数が機材繰りなど、人為的な原因が多い現状にあります。

つきましては、航路下地域住民の生活環境を守るため、深夜・早朝の静穏保持という観点から、航空会社に対して住民の意向を伝え、運航自粛時間飛行の一層の抑制につきましては、航空会社に強く要請いただくようお願いいたします。

令和6年5月8日

北海道エアポート株式会社  
新千歳空港事業所 事業所長  
原 田 浩 信 様

苫小牧市長 岩 倉 博 文

苫小牧市航空機騒音対策協議会  
会 長 丹 羽 秀 則

## 新設調整池からの BOD 目標管理値を超えた

### 空港排水の流出に関する申入れ

新千歳空港につきましては、令和5年の冬ダイヤから有色防除雪氷剤が使用されることに伴い、既設調整池及びこの度新設された調整池において、色度や BOD 値が十分に低減されたことを確認した上で放流することとしております。

そのような中、令和6年3月に発覚しました新設調整池からの BOD 目標管理値を超える空港排水の流出につきましては、国の整備による工事完了後の引き継ぎにおいて、両者の確認不足により新調整池の導水路及び放水路のゲートが開いていたという人為的ミスであり、誠に遺憾であります。

今後においては、工事引き継ぎ時における確認行為を十分に行うとともに、北海道エアポート（株）で行う調整池の維持管理について指導・監視を徹底し、美沢川及び美々川等の環境対策に万全を期していただきますよう強く申し入れます。

令和6年5月8日

国土交通省 東京航空局  
新千歳空港事務所 空港長  
小 谷 浩 一 様

苫小牧市長 岩 倉 博 文  
苫小牧市航空機騒音対策協議会  
会 長 丹 羽 秀 則

## 新設調整池からの BOD 目標管理値を超えた

### 空港排水の流出に関する申入れ

新千歳空港につきましては、令和5年の冬ダイヤから有色防除雪氷剤が使用されることに伴い、既設調整池及びこの度新設された調整池において、色度や BOD 値が十分に低減されたことを確認した上で放流することとしております。

そのような中、令和6年3月に発覚しました新設調整池からの BOD 目標管理値を超える空港排水の流出につきましては、国の整備による工事完了後の引き継ぎにおいて、両者の確認不足により新調整池の導水路及び放水路のゲートが開いていたという人為的ミスの原因とするものであり、誠に遺憾であります。

つきましては、今後の工事引き継ぎ時における確認行為を十分に行うなど、徹底した再発防止策を講じるとともに、今後においては、調整池の適切な維持管理を行い、美沢川及び美々川等の環境対策に万全を期していただきますよう強く申し入れます。

令和6年5月8日

北海道エアポート株式会社  
新千歳空港事業所 事業所長  
原 田 浩 信 様

苫小牧市長 岩 倉 博 文  
苫小牧市航空機騒音対策協議会  
会 長 丹 羽 秀 則

# 申入れに対する回答及び意見交換要旨

## －申入れに対する回答－

### ● 運航自粛時間飛行について

#### 【北海道エアポート(株)佐藤地域共生担当次長】

- ・コロナの5類移行に伴い、航空需要も回復したが、令和5年度の遅延便が717便となり、弊社としても重く受け止めている。
- ・各航空会社は運航の定時性を重視しており、引き続き、ダイヤパターンや機材繰りの変更等に取り組んでいる旨、聞いている。
- ・深夜早朝時間帯については、スケジュールどおりの運航を行うよう運航者会議等を通じ、協力要請を行っていく。

### ● BOD 目標管理値を超えた空港排水の流出について

#### 【北海道エアポート(株)佐藤地域共生担当次長】

- ・再発防止策については、新設調整池の管理を徹底する。具体的には、ゲートの開閉確認、管理方法、操作方法や放流時の流出量設定等をマニュアルに追加して万全を尽くす。東京航空局においては、弊社の維持管理について、指導・監視を徹底していく。
- ・今後、東京航空局が実施する既設調整池の掘増し工事についても、汚濁水を流出させないように、あらかじめ十分に弊社とも調整していただき、適切かつ確実に工事を実施していく。

## －意見交換－

### ● 空港排水の流出について

#### 【三海副会長】

- ・今回の排水流出については、確認を怠った人為的ミスということで、正直申し上げて、あまりにもレベルが低すぎて、質問・意見する気にもならない問題であり、地域住民の立場としても呆れている。もっとレベルの高い空港だと認識していた。

### ● 遅延便について

#### Q【松重副会長】

- ・遅延便について、搭乗時に定刻に乗客が間に合わないケースがあるが、どれくらいの時間待つものなのか。

#### A【北海道エアポート(株)佐藤地域共生担当次長】

- ・保安検査場通過の締切りが、出発の20分前後を設定している航空会社がほとんどであり、乗客が来なかった場合については基本的には待たない。その後、キャンセル待ちへの対応等が発生する。
- ・保安検査場通過後の乗客が見つからない場合については、手荷物を預けている場合、荷物をコンテナから降ろす作業が発生し時間がかかるので、基本的には乗客を探すのが、様々な状況を鑑みて対応を決定することとなる。

## ● 乗継ぎ便の遅れについて

### Q【松重副会長】

- ・乗継ぎでの遅れ等に対しては、どれくらい待つものなのか。

### A【北海道エアポート(株)本間事業課長】

- ・乗継ぎ便に関しては、乗継ぎ可能時間帯（約 20～30 分）というのがあり、それを過ぎるような場合は乗継ぎができない。台風などで遅れた場合も同様。しかし、1 日数便しかない地方空港の場合は待つケースもあり一概には言えない。基本的には 30 分以上待つことはないと思う。

## ● 日航機事故の影響について

### Q【三海副会長】

- ・機材繰りも遅延の大きな原因になるということだが、先日発生した日航機事故の影響はあるのか。

### A【北海道エアポート(株)佐藤地域共生担当次長】

- ・日航機事故後の遅延便の数は増えている状況。
- ・各航空会社の機材繰り、特に J A L は飛行機がなくなったことによる影響が大きかった。また、1 月は時期的に降雪等による欠航が多かった。

## ● 離陸する飛行機の状況について

### Q【松重副会長】

- ・航路下地域から見ていると、離陸する飛行機の高度が低い、高いの 2 種類が見受けられるが、こういった理由なのか。

### A【国土交通省東京航空局小谷空港長】

- ・離陸の際、滑走路の端から飛ぶ場合や途中からの場合があり、その関係で若干高さが違うこともある。また、飛行機の重量等によっては、高度が変わってくることもある。
- ・離陸については、基本的にターミナル側の滑走路から離陸している。

## ● 深夜便への変更について

### Q【神保まちづくり推進室長】

- ・遅延便について、A I R D O と A N A の便数が多い状況が見受けられる。過去同じような質問があったかもしれないが、これらの便を 2 2 時以降の深夜早朝枠の 3 0 枠に登録するというような考え方はないのか。

### A【北海道エアポート(株)佐藤地域共生担当次長】

- ・おそらく 21 時 45 分着予定の A I R D O 3 7 便だと思うが、30 枠に入れてしまえば当然遅延便数は減るので、今後も機会あれば A I R D O とお話をさせていただきたい。
- ・現状については、A I R D O 側もちろん認識しており、申し訳ないという気持ちはお持ちのようである。

## 令和6年度 苫小牧市航空機騒音対策協議会 要望活動(案)

## 1 要望時期

令和6年9月頃

## 2 要望先

## ■国会議員（議員会館：千代田区永田町）

衆議院議員 堀井 学

参議院議員 橋本 聖子

衆議院議員 山岡 達丸

## ■国土交通省

国土交通大臣

国土交通副大臣

国土交通大臣政務官

航空局（千代田区霞が関 2-1-3）

局 長

航空ネットワーク部長

大臣官房参事官（航空戦略）

東京航空局（千代田区九段南 1-1-15）

局 長

次 長

総務部長

空港部長

保安部長

安全管理官

総務部次長

空港部次長

総務部総務課長

総務部航空振興課長

空港部管理課長

空港部環境・地域振興課長

空港部空港企画調整課長

空港部土木課長

空港部建築課長

保安部技術保安企画調整課長

保安部管制課長

保安部管制技術課長

新千歳空港事務所(千歳市美々)

空 港 長

## ■北海道エアポート株式会社

代表取締役 社長

新千歳空港事業所 事業所長

## ■防衛省

防衛大臣

防衛副大臣

防衛大臣政務官

防衛政策局（新宿区市谷本村町 5-1）

局 長

防衛政策課長

日米防衛協力課長

運用政策課長

訓練課長

地方協力局(新宿区市谷本村町 5-1)

局 長

次 長

総務課長

東日本協力課長

地域社会協力総括課長

航空幕僚監部(新宿区市谷本村町 5-1)

航空幕僚長

航空幕僚副長

総務部長

総務部総務課基地対策室長

運用支援・情報部長

運用支援・情報部運用支援課長

航空自衛隊第2航空団(千歳市平和)

千歳基地司令

北海道防衛局(札幌市中央区大通西 12)

局 長

次 長

企画部長

企画部地方調整課長

企画部防音対策課長

企画部地方調整課環境対策室長

企画部地方調整課基地対策室長

管理部業務課長

## 3 要望書

別紙のとおり

# 要 望 書 (案)

「航空機騒音の一層の軽減及び安全対策」について、別記理由により特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年9月 日

苫小牧市長 岩倉博文

苫小牧市航空機騒音対策協議会  
会 長 丹羽秀則

## 理由書（案）

新千歳空港につきましては、北海道のリーディングゲートウェイとして発展を続けており、国内線におきましては、昨年度の旅客数が2,000万人を突破するなど、コロナ禍で落ち込んでいた航空需要も順調に回復しております。

一方、航空機の離着陸機数の増加等により、空港周辺の住民は、生活環境への影響や航空機事故に対する不安を抱えながら生活している状況です。

国におきましては、騒音軽減対策及び安全対策を実施されているところですが、さらに下記事項について、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

## 記

- 1 着陸時における住宅街での飛行高度を遵守すること並びに離陸時における通常の飛行コースを遵守すること  
また、離陸時の飛行として住宅街を避けるコースを設定すること
- 2 運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること  
特に、深夜の静穏保持の観点から、遅延便等の一層の抑制に向け、航空会社への指導強化を行うこと
- 3 低騒音機種への切替えを促進すること及び外国貨物機の騒音軽減について引き続き指導を行うこと
- 4 航空機等の点検整備など、安全管理を徹底すること  
また、航空機事故の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること
- 5 北海道エアポート（株）の安定的な運営を支援し、新千歳空港における安全対策等の維持・強化を図ること
- 6 美沢川及び美々川等への環境対策に万全を期すこと

# 要 望 書（案）

「航空機騒音の一層の軽減及び安全対策」について、別記理由により特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年9月 日

苫小牧市長 岩倉博文

苫小牧市航空機騒音対策協議会  
会長 丹羽秀則

## 理 由 書（案）

新千歳空港につきましては、北海道のリーディングゲートウェイとして発展を続けており、国内線におきましては、昨年度の旅客数が2,000万人を突破するなど、コロナ禍で落ち込んでいた航空需要も順調に回復しております。

一方、航空機の離着陸機数の増加等により、空港周辺の住民は、生活環境への影響や航空機事故に対する不安を抱えながら生活している状況です。

貴社におきましては、騒音軽減対策及び安全対策を実施されているところではありますが、さらに下記事項について、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

### 記

- 1 着陸時における住宅街での飛行高度を遵守すること並びに離陸時における通常の飛行コースを遵守すること

また、離陸時の飛行として住宅街を避けるコースを設定すること

- 2 運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること

特に、深夜の静穏保持の観点から、遅延便等の一層の抑制に向け、航空会社への指導強化を行うこと

- 3 低騒音機種への切替えを促進すること及び外国貨物機の騒音軽減について引き続き指導を行うこと

- 4 航空機等の点検整備など、安全管理を徹底すること

また、航空機事故の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること

- 5 美沢川及び美々川等への環境対策に万全を期すこと

# 要 望 書 (案)

「航空機騒音の一層の軽減及び安全対策」／  
「防音対策事業」について、別記理由により  
特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年9月 日

苫小牧市長 岩倉博文

苫小牧市航空機騒音対策協議会  
会 長 丹羽秀則

## 理 由 書 (案)

千歳飛行場につきましては、航空自衛隊による通常訓練や政府専用機の訓練に加え、米軍再編に伴う訓練移転や他国との共同訓練などにより航空機騒音が増え、また、自衛隊機による部品落下事故も繰り返し発生しております。

千歳飛行場は、航空自衛隊の基幹飛行場として重要性が高まっておりますが、飛行場周辺住民は、航空機騒音に悩まされるとともに、戦闘機事故に対する不安を抱えながら生活している状況にあります。

国におきましては、騒音軽減対策及び安全対策を実施されているところですが、さらに下記事項について貴職の特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

### 記

- 1 市街地上空での低空飛行を避けること
- 2 通常訓練の離着陸コースを遵守すること
- 3 運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること
- 4 訓練・演習における土日祝日の飛行を避けること
- 5 自衛隊機等の点検整備など、安全管理を徹底すること

また、自衛隊機事故等の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること

## 理 由 書 (案)

千歳飛行場周辺整備事業につきましては、日頃から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

厳しい財政事情の中にあつて、逐年飛行場周辺地域の環境整備がなされており、感謝に堪えない次第でございます。

しかしながら、千歳飛行場の南方周辺は航空機の頻繁な離着陸による騒音障害と、米軍再編に伴う訓練移転の開始により、騒音がさらに増え、周辺住民の生活安定及び福祉の向上のための諸対策が強く望まれております。

つきましては、下記事項について、貴職の特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

### 記

- 1 住宅防音助成については、対象区域を70Wまで拡大するとともに、全室を対象とし、告示後の新築住宅についても対象とすること